

令和7年度 北九州市立熊西中学校 学校経営方針

北九州市立熊西中学校
校長 中川 由美子

校訓
信 協 自 健
頼 同 主 康

信頼（互いの信頼関係の構築）
協同（共に力を合わせる）
自主（自ら考え実行する）
健康（ウェルビーイング）

学校教育目標

みんなが生き生きと学び、
自主・自律・共生の力を育むことができるあたたかい学校

目指す学校の姿

- (1) 一人一人の強み弱みを理解し、相互に補完し合う学校
- (2) 自分の考えを伝えることができ、その意見を周りがしっかりと聞く学校
- (3) 困っているときはいつでも誰にでも相談でき、一緒に考えていく学校
- (4) 共に前向きに考え、共に高め合うことを喜びとする学校
- (5) 保護者や地域から信頼される開かれた学校

目指す生徒の姿

- (1) 自他共に大切にできる生徒
- (2) 自分の考えを表現し、行動できる生徒
- (3) 失敗を恐れず、挑戦し続ける生徒
- (4) 共に高め合うことを喜びとする生徒
- (5) 夢をもつ生徒

目指す教職員の姿

- (1) 一人一人を、そしてひとつひとつを大切にできる教育的愛情にあふれた教職員
- (2) 自分の考えを表現し、行動できる教職員
- (3) 自他のよさを認め、共に高め合うことができる教職員
- (4) 生徒、保護者、地域から信頼される教職員
- (5) 教育公務員として自覚と使命感をもち、教育的愛情にあふれた教職員

重点目標と具体的方策

確かな学力

- スクールプランに基づいた組織的・計画的な取組の実施
- 誰一人取り残さない学びの保障と進路保障
- 学び合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるよう授業改善の取り組みを実施。コミュニケーション力の育成
- GIGA 端末や ICT 危機の効果的に活用し、生徒が自分の考えを表現できるような授業の工夫
- 学び合いの研究テーマを軸に、全教科で授業改善の実施
- 読書活動の推進と学校図書館の活用

心の育成

- 教職員の情報交換や情報共有を密に行い、学年を越えた生徒指導体制の確立
- 生徒と教職員の信頼関係及び生徒同士の好ましい人間関係づくりの促進
- 生徒が自主的に活動し、自信を積み上げていく教育活動の推進
- 失敗を恐れず、何事も挑戦する集団の育成
- 確かな人権感覚を育成する人権教育の推進
- 教育活動全体を通して、自他のよさに気付き、共に大切にする道徳教育推進
- 多様性への理解

健やかな体の育成

- 運動が苦手な生徒も「できた」と実感できる協働的な学習活動を工夫し、運動の楽しさが実感できる授業の改善
- 苦手なことも挑戦することで自信となるような周りの関わりとあたたかな声掛けが自然とあふれる学習環境づくり
- 運動好きな生徒の育成
- 年間を通した運動習慣の確立
- 教育活動全体を通した体力の向上
- 基本的な生活習慣の確立と食育の推進。特に、朝食をとる習慣の確立。

安全・安心であたたかさあふれた学校づくり

- 危機管理体制の充実による学校事故・事件の未然防止（危機管理の「さ・し・す・せ・そ」）
- 災害に対し主体的に行動できる防災教育の推進
- 生徒の小さな変化も見逃さず、あたたかい声掛けができる関係づくり
- いじめ、不登校、虐待等生徒の SOS を見逃さず、未然防止・早期発見・早期対応・早期解決
- 学級環境整備と学校の環境美化
- 校内掲示物の工夫
- 居心地のよい学校を目指し、生徒へのあたたかい関わりを常に考えていける職員の意識の醸成

働きやすい職場づくり

- 「学校における業務改善プログラム（第3版）」のもと、学校が主体となって業務改善を実施
- 効果的、効率的な業務の推進
- 一人一人の強み弱みを理解し、相互に補完し合う集団
- 同僚を信頼し、同僚のよさに学ぶ姿勢
- 職員を一人にしないあたたかい声掛け
- 気持ちの挨拶にあふれた集団
- 若手教員が安心して取り組める職場環境
- 子どものことを語るやりがいを感じられる環境
- 職員の一人一人が大切にされた笑顔にあふれる「チーム熊西」のあたたかい職員集団

重点目標達成のために大切にしていきたいこと

- 誰一人取り残さない学びの確保（学び合いの推進）
- 生徒が安心安全に学校生活を送ることができるようにするための教職員のアンテナの高さとあたたかい声掛け
- 教育活動全体を通してあたたかさがあふれた学校となるよう生徒と教職員の信頼関係及び生徒同士の好ましい人間関係の構築
- ワークライフバランスの推進に向けた業務改善
- 教育公務員としての使命感と自覚

日常の心構え

- 気持ちのよい挨拶と感謝のことば
- 生徒、保護者、地域から信頼される行動
- 一人一人を大切にする意識とひとつひとつを大切にできる意識